



水道の災害対策ガイド

ぜひコピーしてご家族や知人にお渡しください！



備え 災害が発生する前に…すぐにできる備え

水のくみ置きのポイント



「ふたのできる容器に口元まで」

塩素の消毒効果を保つために浄水器を通したり、沸かしたりせず、蛇口から直接、口元いっぱいまでそそぎましょう。



「1人1日3リットル」

人間に必要な水の量は1人1日3リットルです。この量を目安に、3日分程度のくみ置きをしてください。



「常温で3日間、冷蔵庫では10日間」

塩素の消毒効果は直射日光を避けて、常温で3日間、冷蔵庫で10日間程度持続します。



災害時に水をもらうための用意

災害時に水をもらうときに必要になります。事前に準備しておきましょう。

水を入れる清潔な容器



水を運ぶためのカートやリュック



災害時

実際に災害が発生したら

最寄りの災害時給水ステーションを確認しましょう

災害で断水したときは、災害時給水ステーションで水をお配りします。
災害時給水ステーションは、次の場所で開設します。

① 水道施設や公園の下に貯めておく施設

お住まいから約半径 2 km の距離内に 1 か所、
都内 200 か所以上の浄水場や給水所等の水道施設、
地下の応急給水槽等に開設

下記 QR コードからお近くの
災害時給水ステーションをご確認いただけます。

水道局ホームページは
こちら



災害時給水ステーションの開設状況は、
水道局ホームページ等で公表します。
開設状況を確認の上、お越してください。

② 避難所等

○避難所応急給水栓

避難所の耐震化に合わせて設置された給水栓に区市町が仮設の蛇口を設置

○消火栓等を活用するもの

避難所付近のあらかじめ指定した消火栓等に区市町が仮設の蛇口を設置

○仮設水槽

区市町が設置する仮設のタンク等に給水車等の車両を使用して水を補給

災害時給水ステーションは
このマークが目印です。



災害時給水ステーション

東京都水道局

災害時の情報入手方法

水道施設の被害状況や局の対応状況をマスメディアに情報提供し、公表します。
さらに水道局ホームページや Twitter でも発信いたします。

ビラ等の配布

局ホームページ

水道局公式 Twitter はこちら

区市町への情報提供

局公式 Twitter



@tocho_suido

局の各庁舎の掲示板や
玄関などへの掲示

ラジオへの情報提供

拡声機付広報車 など



石油系溶剤を含まないインキを
使用しています。

リサイクル適性(A)
この印刷物は、印刷用の紙へ
リサイクルできます。